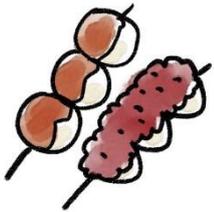




おじいちゃん・おばあちゃん
とってもすてき！



のんびりすごしたり、ゆかいなことがおこったり。

ほんなか本の中では、どんなおじいちゃん・おばあちゃんにであ会えるかな？



毎月**23**日は



2022年8月23日発行

【編集・発行】

さいたま市立大宮西部図書館

さいたま市北区櫛引町 2-499-1

TEL 048-664-4946

FAX 048-667-7715

～おじいちゃん・おばあちゃんが登場する本～

『うちのおじいちゃん』

谷口國博／文 村上康成／絵 世界文化社

『みててね、おじいちゃん』

藤田千津／作 長谷川知子／絵 文研出版

『じいじのさくら山』

松成真理子／著 白泉社

『おじいちゃんと森へ』

ダグラス・ウッド／原作
P.J.リンチ／絵 加藤則芳／訳 平凡社



『あらまっ！』

ケイト・ラム／文 エイドリアン・ジョンソン／絵
石津ちひろ／訳 小学館

『こんとあき』

林明子／さく 福音館書店

あきが、おばあちゃんからもらった、キツネのぬいぐるみのこん。
ある日、こんのうでがこわれてしまいました。なおしてもらうため、
こんとあきはおばあちゃんのもとへ、でんしゃにのってむかいます。

『おもいついたら そのときに！』

西内ミナミ／作 にしまきかやこ／画 こぐま社

『カタカタカターおばあちゃんのたからものー』

リンシャオパイ／さく 宝迫典子／やく ほるぷ出版

『おじいちゃんのめだまやき』

山花郁子／作 長野ヒデ子／絵 文研出版

『おばあちゃん、ゆうびんです』

杉みき子／さく 遠藤てるよ／え PHP 研究所

～おじいちゃん・おばあちゃんになるってどんな感じ？～

『ぼくのおじいちゃんのかお』

天野祐吉／文 沼田早苗／写真 福音館書店

『つるつるしわしわーとしをとるおはなしー』

バベット・コール／さく かねはらみずひと／やく ほるぷ出版

『あたしのいもうとちゃん』

尾崎美紀／作 尾崎曜子／絵 ひさかたチャイルド



退院したおばあちゃんが、おぼえていたことをだんだんわすれて
しまって、あたしのことを「おねえちゃん」ってよんできたの。
どうしたらいいのかしら？

『おばあちゃんがおばあちゃんになった日』

長野ヒデ子／作 童心社

『おじいちゃん、大すき！』

太田京子／作 宮本忠夫／絵 草炎社

『ふれあうことから始めよう高齢社会がわかる本 —総合的な学習福祉—1』

くもん出版



～ひいおじいちゃん・ひいおばあちゃんもいるんだよ！～

『おじいちゃんは106さい』

松田もとこ／作 菅野由貴子／絵 ポプラ社

『おーばあちゃんは きらきら』

たかどのほうこ／さく こみねゆら／え 福音館書店



～おじいちゃん・おばあちゃんとあそぼう！～

『^{がっこう}学校と^{まいにち}毎日の^{あそ}遊び（^{むかしの}むかしの^{くらし}くらし^{思い出}思い出^{絵日記}日記3）』
たかいひろこ／著 ポプラ社

『^{あそ}おじいちゃんは^{めいじん}遊びの^{さんせだい}名人—^{たの}三代で^{でんしょうあそ}楽しむ^{伝承}伝承^{遊び}遊び—』

『^{あそ}おばあちゃんは^{たつじん}遊びの^{さんせだい}達人—^{たの}三代で^{でんしょうあそ}楽しむ^{伝承}伝承^{遊び}遊び—』
多田千尋／著 ひかりのくに



この2冊は、それぞれちがうあそびが
紹介されているので、おじいちゃん・
おばあちゃんに教わっていっしょに
たくさんあそぼう！

～おじいちゃん・おばあちゃんが 子どもだったころから読まれている本～

『エルマーのぼうけん』 1963年に出た本
ルース・スタイルス・ガネット／さく ルース・クリスマン・ガネット／え
わたなべしげお／やく 福音館書店

『スプーンおばさんのぼうけん』 1968年に出た本
アルフ=プリョイセン／作 大塚勇三／訳 ビョールン=ベルイ／画 学研



このリストに掲載している図書は、さいたま市図書館で
所蔵しています。貸出や予約（順番待ち）ができます。

- さいたま市図書館ホームページ
<https://www.lib.city.saitama.jp/>

●毎月23日は、さいたま市子ども読書の日●